

社会福祉法人 豊春福祉社会

～新たな社会福祉法人像の構築～

社会福祉法人の子ヤレージ

○地域交流：園庭開放、繪本や育児書の貸し出し、育児講座、園の各種行事等への参加、世代間交流事業として地域の敬老会やディサービスでの園児との交流は大変喜ばれている。

一人ひとりが、かけがえのない子どもであるという意識を高めるような保育を進めています。
現在は那覇市療育センターや専門家による巡回指導等アドバイスを受けながら5名の障害児の保育を行っています。

⑤創立25年の保育事業により、卒園児の二代目の保育事例も増え、卒園後も生年祝いや成人の集いを行い、園庭が急速に進行し、家庭や地域の子育て・養育力の低下が大きな社会問題となっています。
社会福祉法人立の保育所には、法人の機能を發揮し、地域の子育て支援の中核的な役割を担うことが求められています。

本県においても少子高齢化や核家族化が急速に進行し、家庭や地域の子育て・養育力の低下が大きな社会問題となっています。

所とした末永い園わりが続いていることを願っています。

1. 法人・施設の概要

法人名	社会福祉法人 豊春福祉社会
理事長	瀬名波菜喜
設立日	昭和56年3月31日(厚生大臣認可)
施設名	こくら保育園
施設長	仲田房子
定員	90名(現員112名)
敷地	1,876.0m ² (内829.0m ² は借地)
建物	R.C平屋建て439.0m ² ,34m
住所	那覇市古波磨2-4-32
電話	(098)834-6000

2. 事業目標

- 心身ともに健康で明るい子
- すなおで思いやりのある子
- 感性豊かで創造力のある子
- 障害児保育：現在5名が利用
- 延長保育：1日平均20名が利用
- 一時保育：1日平均5名が利用
- 5歳児保育：現在15名が利用

3. 事業の実践概要

①障害児保育については、平成10年に自主事業として取り組み、平成12年に那覇市の補助事業として本格的に統合保育をスタートしましたが、



那覇市古波磨にあるこくら保育園

沖縄県介護実習普及センター

市役所職員研修で高齢者擬似体験 初めての開催



驚きながら装着してます



1階ロビーで申請書の記入体験



「立つのがきついね～」



「うわー、見えにくい、書きにくい」

10月19日(水)、宜野湾市役所、研修室にて職員研修「高齢者からみるソフト・ハード」と題して高齢者擬似体験教室が開催された。

日常、市民生活と関わる深い市役所職員のサービスの質向上、環境に関する配慮等、高齢者擬似体験をとおし、市民側に立つて「ソフト面・ハード面のあらゆる面からサービス」について「考察」した。終始和やかな雰囲気のなかにも、受講者から「ちょっとしたソフト面の配慮が大切と感じた」、「高齢者の目線に立ったサービスの提供が必要と感じた」など、職場のソフト・ハードを再認識し、どうあるべきかを受講者一人ひとりが、真剣に講義に聞き入っていた。

はあとふるケア

電動車いすを見てみましょう。



1. 「電動車いす」ってなあ～に。
電動車いすは、下肢だけでなく上肢にも障害を持つ人を対象に開発されたもので、簡単な操作(ジョイスティック・クレバーなどの操縦)で走行するように工夫されています。

1. 「電動車いす」ってなあ～に。

電動車いすは、後輪駆動方式の占める割合が大きく、小回りと操作性の良さとして選択してはいかがでしょうか。

*注意 方向変換するとき前輪が左右フリーの

ため、同時に進行方向に車輪が多少向かることがあります。

(次段としてではありません)

(1)コントロールボックスのジョイスティッククレバー(図3)のセッティング位置がもつとも重いです。

3. 使い方

(1)コントロールボックスのジョイスティッククレバー(図3)のセッティング位置がもつとも重いです。

あります。



(2)自力駆動電動車いす(図2)の場合は、通常の車いすに大車輪を電動用に変えて、自操用及び電動車いすとして利用が可能です。

